

(1) 職務・発掘調査従事経歴書

応募者氏名

区分	期 間	場所・遺跡名（時代）	実施時の所属機関及び職名	主な担当業務	遺跡の特徴
☒ 発掘調査 ☐ 整 理	平成 20 年 4 月 ～ 平成 23 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所／ アルバイト	遺構掘り下げ・図面作 成・土層注記	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土器・瓦 等出土
☐ 発掘調査 ☒ 整 理	平成 23 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所／ 臨時調査員	遺物実測・トレース	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土器・瓦 等出土
☒ 発掘調査 ☐ 整 理	平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (縄文～古墳)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター／調査員（有期職 員）	現場運営関係書類作 成・労務管理・現場運 営・実測・写真撮影	調査面積約 0,000 m ² 。道路拡張調査。 竪穴建物跡 00 軒の集落跡。落とし穴 多数。古墳 1 基。
☒ 発掘調査 ☐ 整 理	平成 26 年 4 月 ～ 平成 27 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇A遺跡 (古墳～奈良・平安)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター／調査員（有期職 員）	現場運営関係書類作 成・労務管理・現場運 営・実測・写真撮影	調査面積約 0,000 m ² 。歩道拡張調査。 竪穴建物跡 00 軒の集落跡。鉄製紡錘 車出土。
☐ 発掘調査 ☒ 整 理	平成 28 年 4 月 ～ 平成 29 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇A遺跡 (古墳～奈良・平安)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター／調査員（有期職 員）	契約事務書類作成・労 務管理・実測・トレ ース・原稿執筆	調査面積約 0,000 m ² 。歩道拡張調査。 竪穴建物跡 00 軒の集落跡。鉄製紡錘 車出土。
☒ 発掘調査 ☐ 整 理	平成 20 年 4 月 ～ 平成 23 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所／ アルバイト	遺構掘り下げ・図面作 成・土層注記	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土器・瓦 等出土
☐ 発掘調査 ☒ 整 理	平成 23 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所／ 臨時調査員	遺物実測・トレース	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土器・瓦 等出土

記載例

(2) 主な発掘調査報告書等実績書

応募者氏名

刊行年月	題 名	執 筆 部 分	発行機関
令和5年 3月	担当／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	000 頁／第6章「調査成果」 pp.00-00	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
令和2年 3月	担当／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	000 頁／第5章「考察」 pp.00-00 担当としてすべてを編集・執筆した場合は、総頁数／考察にあたる章の頁を記載	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
令和元年 3月	分担執筆／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	執筆部分／第1章「調査に至る経緯」 pp.00-00、第3章「遺構」 pp.00-00、第4章「遺物」 pp.00-00、第6章「調査成果」 pp.00-00	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
平成30年 3月	分担執筆／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集 担当・分担執筆の別／『報告書名』、シリーズ番号の順に記載	執筆部分／第1章「調査に至る経緯」 pp.00-00、第3章「遺構」 pp.00-00、第4章「遺物」 pp.00-00、第6章「調査成果」 pp.00-00 分担執筆の場合は「執筆部分／」と明示し、担当章名、担当頁を記載	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
平成28年 3月	分担執筆／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	執筆部分／第3章「遺構」	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
平成26年 3月	分担執筆／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	執筆部分／第1章「調査に至る経緯」 pp.00-00、第2章「歴史的環境」	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター

※ 分担執筆の場合、分担項目を抽出して記載してください。

記載例

どちらかにチェック

(3) 主な論文等実績書

応募者氏名

刊行年月	査読の有無	題 名	内 容	発行機関	提出業績
令和4年 3月	☐ 査読論文 ☒ 一般論文	単著／「〇〇〇と〇〇〇」-〇〇〇〇 の〇〇〇-『紀要 第00号』pp.00-00	〇〇〇〇遺跡から出土した〇〇〇の出土状況を分析し、周辺地域の類例と検討した結果、本来の使用方法に加え、〇〇の自然現象が多発する地域特性に対応した使用特性が加わる可能性を考察した。	〇〇県埋蔵文化財センター	
令和2年 3月	☒ 査読論文 ☐ 一般論文	単著／「古代〇〇〇と〇〇について」『日本考古学』pp.00-00	これまで行われていなかった〇〇についての分布論や型式分類、編年を行い、〇〇が関与することで成立し、〇〇における〇〇に重要な役割を明らかにした。	一般社団法人日本考古学協会	○
平成30年 3月	☐ 査読論文 ☒ 一般論文	共著／「古墳時代の〇〇研究と現状の課題」『〇〇の考古学』pp.00-00	〇〇をテーマとした総合的な視点から〇〇研究の現状を考える企画で、〇〇について分担執筆した。これまで主流であった〇〇の考え方が〇〇とする傾向にある過渡期であることを指摘した。	〇〇先生〇〇記念論集 刊行会／株式会社〇〇	
平成28年 3月	☐ 査読論文 ☒ 一般論文	単著／「古墳時代〇〇〇の総攬」-〇〇〇〇の出土から-『紀要 第0号』pp.00-00	関東地方の〇〇〇を集成し、時期的分布と細部にわたる型式分類を行い、関東地方の傾向を明らかにし、畿内との位置づけに言及した。	〇〇県埋蔵文化財センター	
平成25年 3月	☐ 査読論文 ☒ 一般論文	単著／「古代〇〇〇〇遺跡を例として-『〇〇大学大学院研究紀要 00』pp.00-00	〇〇〇〇遺跡から出土した〇〇〇の出土状況を分析し、〇〇〇〇周辺地域の類例と検討した結果、本来の使用方法を考察した。	〇〇大学大学院	

「募集案内」6(1)③により研究業績別刷のPDFとして提出するものに○を記載

編集機関と発行機関が別の場合は、編集機関／発行機関の順に記載

単著・共著の別／「題名」と副題、『掲載雑誌名』、掲載部分の頁の順に記入

※ 分担執筆の場合、分担項目を抽出して記載してください。